

ウエルネスクラブの事業効果評価 <non HDL-c の変化>

2018年度から特定健診・保健指導の項目の見直しが行われました。そのなかで、血中の脂質検査項目に non HDL-c が追加されました。

「non HDL-c」 =
「総コレステロール」 - 「HDL コレステロール」

総コレステロール（以下：TC）、HDL コレステロール（以下：HDL-c）とします。

2017年日本動脈硬化学会のガイドラインでは、170mg/dl 以上を高 non HDL-c 血症（危険）、150～169mg/dl 以上を境界域高 non HDL-c 血症（やや危険）としています。

そこで、ウエルネスクラブの事業効果評価として、「non HDL-c」の変化を確認しました。

統計解析には StatView5.0 を使用し、統計的有意水準は 5% に設定しました。

測定値の男女比較には対応のない T 検定を使用し、比較データは平均値±標準偏差で示しました。

5年間の変化は、One-way Repeated measure ANOVA で、多重比較は Tukey-Kramer 法を用いました。

<対象者>

アクアドームオープンの1991年からTCを測定していた2009年3月までの間で、ウエルネスクラブ入会后5年以上継続し、TCとHDL-cの測定値が揃っている人を対象にしました。

表1 対象者

	男性	女性	P 値
人数 (人)	88	91	
年齢 (歳)	53.7±12.7	50.7±12.1	P=0.075
TC (mg/dl)	203.6±31.9	211.9±35.3	P=0.100
HDL-c (mg/dl)	53.3±15.1	64.2±19.4	P<0.001
non HDL-c	150.3±35.2	147.7±37.8	P=0.634

<結果>

図1に non HDL-c の変化を示しました。

男性では、危険群において、入会時に比べて、2年目から5年目まですべて有意な低下が認められました。やや危険群と基準値群では、有意な差は認められませんでした。

(表2)

女性では、危険群で4年目に有意な低下が認められました。やや危険群では、入会時に比べて有意な差は認められませんでした。基準群で2年目に増加が認められました (表2)。

<考察>

入会時に non HDL-c 比の高い人（危険群）は、ウエルネスクラブ会員を継続することによって、低下していることが認められました。

これは、健康づくりを目的に運動を定期的に行っている効果と推察されます。ウエルネスクラブ事業の効果が現れたものと考えられます。

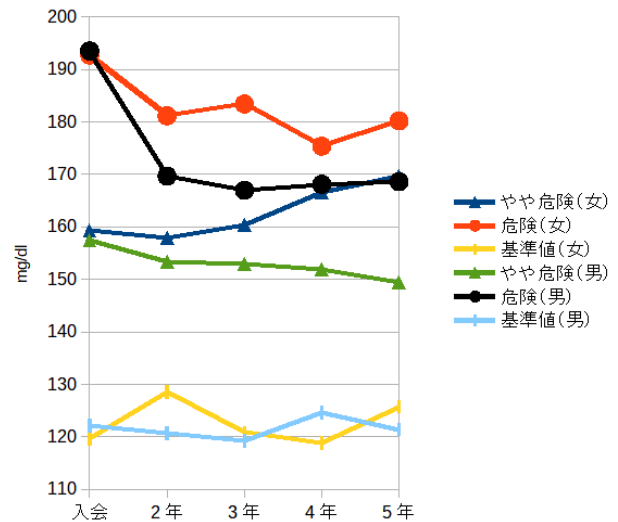


図1 non HDL-c の変化

表2 入会時との比較 (— : n. s. * : P<0.05)

		入会	2年	3年	4年	5年
男	危険		*	*	*	*
	やや危険		—	—	—	—
	基準値		—	—	—	—
女	危険		—	—	*	—
	やや危険		—	—	—	—
	基準値		*	—	—	—